

令和2年度

事業計画及び
予算書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

1	事業計画	2
2	収支予算書	12
3	収支予算内訳表	15

令和2年度 公益財団法人 静岡産業振興協会事業計画

I 事業方針

本年度は、中期経営計画（2019年度～2022年度）の2年目となります。

当協会では、当該計画の4本柱となる①「ツインメッセ静岡貸館事業」、②「地場産業支援事業」（以上、静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡））、③「都市型産業支援事業」、④「中小企業支援センター事業」（以上、静岡市産学交流センター）の各事業をさらに推進するため、中期経営計画の2年目の目標の達成を目指し、下記事項を重点に置き、取り組んでまいります。

- 1 「ツインメッセ静岡貸館事業」では、協定を結び首都圏などに協働で誘致活動を行っている「グランシップ」の改修工事（9月～3月）に伴う利用者の受け皿としての調整や、令和4年度予定の南館大規模改修工事の影響を受ける定時利用者との調整を進め、当館で可能な限り催事が開催できるよう取り組みます。
- 2 地場産業支援事業では、「頑張る地元中小企業の未来へ向けた支援」「優れた伝統工芸技術の伝承」「暮らしの中に溶け込む地場製品のPR」というこれまでの取組に、新たに「次代を担う子どもたちへ“ものづくり産業”とのふれあい推進」を加え、子どもの頃から地元の“ものづくり”に興味・関心を醸成する取組に対して支援を始めます。
- 3 都市型産業支援事業では、今年度で3年目となる「清水産業・情報プラザ」との共同指定管理業務をより充実させるため、両施設の創業者支援室に入居する創業者に対し、相互交流を図る場を提供し、支援します。
また、産学共同研究委託事業では、前年度新設した「発展コース」の限度額を引き上げることで、製品化を促します。
- 4 中小企業支援センター事業では、中小企業等販路開拓事業のおみやプロジェクトにおいて、販路対象を県内のホテル、旅館に重点を置くなど、事業を効果的に展開するため、さらに工夫して取り組みます。

II 事業概要

1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

① 展示場及び会議室等の貸与

★展示場を最大限に活用し産業振興とMICEを推進します

地場産業団体や地元中小企業等が関与する事業、及び、国、地方公共団体等が実施する展示会・啓発イベントなど、公益目的の事業に展示場や会議室等を貸与し、地域産業の活動支援や経済交流の促進を図る。

【地場産業団体や地元中小企業等が関与する事業】

シズオカ[KAGU]メッセ(6月)、静岡優良ツキ板展示大会(6月・12月)、

ビジネスマッチング商談会(10月)、産業フェアしずおか(11月)

クリスマスフェスタ(12月) など

【国、地方公共団体等が行う事業】

静岡市職員採用試験(6月・9月)、国勢調査実査本部(10月～12月)、

選挙開票会場(3月)、TGCしずおか(1月)、確定申告会場(2～3月) など

◆取組 ・利用者の要望を把握し、日程の確保や過去の利用実績を基にした円滑な運営をサポートする。

◇目標 ・大展示場のリピーターの定着率90%以上確保

(2) 地場産業支援事業

① 新製品、新技術及びデザイン開発支援事業 13,656千円(6,494千円)

★頑張る地元中小企業の未来を支援します

静岡の特色を生かした新商品の開発・商品化及び開発商品の販路開拓支援による業界全体の活性化を図る。

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

本事業で開発された商品や開発メーカーの社会的価値の向上と販売促進を図るため、Gマーク(グッドデザイン賞)の取得を促し、それを支援する。また、より多くの企業に商品開発の経験を積んでもらうために、新規参加者の獲得に取り組む。

◆取組 ・Gマーク取得のための支援・助成を行う。 **新規**
・行政と連携して関連団体、企業へのPRを充実させ、ニューウェーブ「しずおか」創造事業の認知を広める。

◇目標 ・Gマーク取得商品1件(経営計画目標)

・新規参加者を2者獲得(経営計画目標)

<地場産業販路開拓・PR事業>

協会が地場産業支援事業で支援している事業者、職人などを対象に、継続的かつ安定的な事業運営につながるよう、ニューウェーブ「しずおか」創造事業で開発した商品及び静岡の特色を生かした商品の販路開拓を行うため、全国規模の展示会での商談・PRの場を提供する。

- ◆取組
 - ・東京インターナショナルギフトショーへの出展を支援する。
 - ・インテリアライフスタイル展への出展を支援する。 **新規**
 - ※デザイン感度が高い展示会に出展し、新たな顧客層を取り込む。
 - ・京都インターナショナルギフトショー WAZA博への出展を支援する。 **新規**
 - ※新たに関西圏に向け静岡の地場産業技術をプロモーションする。
- ◇目標
 - ・東京ギフトショー：新規取引先の開拓 100 件、商談 30 件（6社で実施）
 - ・インテリアライフスタイル：新規取引先の開拓 60 件、商談 20 件（4社で実施）
 - ・WAZA博：OEM相談 10 件、OEM受注 6 件

<若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人の新たな挑戦をサポートし、開発製品に対する販路開拓と若手職人の人材育成を行う。

- ◆取組
 - ・「中川政七商店」が運営している都内の有名百貨店内店舗での商品販売及びプロモーションを行う。（継続2年目）
- ◇目標
 - ・「中川政七商店」での継続的な取引商品 2 点創出

② 人材養成、人材確保推進事業 3,536 千円 (9,103 千円)

★優れた伝統工芸技術を次世代に繋げます

伝統産業の技術力を伝承する実技講習や、中小企業の従事者・職人等の販売力・広報力を養う各種講習会を実施し、地場産業の後継者育成と中小企業の経営基盤強化を支援する。

<伝統工芸技術保存講習会>

静岡市伝統工芸技術秀士を講師に迎え、一定の技術を習得した若手職人を対象に、5分野（漆器、竹細工、蒔絵、拭き漆、木工）の実技講習会を開催し、伝統工芸の後継者育成と技術練磨を図る。

また、本年度は講習生のさらなるレベルアップのための新講座の開設準備を進める。

- ◆取組
 - ・講習会で制作した作品を発表する場を創出し、講習生のモチベーションアップを図る。
 - ・令和3年度の「熟練者コース」の開設に向けて、前年度収集した情報を基に実施体制を構築する。
- ◇目標
 - ・展示発表をする場を年に1回以上設定（経営計画目標）
 - ・「熟練者コース」のカリキュラムの作成と生徒の募集（経営計画目標）

<静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、講演会、講座、展示会への出展を通して地域産業の抱える課題、問題等の解決につなげる。

- ◆取組 ・各種講座（講演会、実践講座など）を開催する。
- ◇目標 ・講演会の参加者数 30 名以上

③ 「産業フェアしずおか」開催事業 18,225 千円 (30,830 千円)

- ★暮らしの中に溶け込む地場産品を積極的にPRします
- 静岡市の地場産業を一堂に集め、その魅力を発信し、消費拡大を促す。

<産業フェアしずおか2020>

地域産業の振興・発展と「ツインメッセ静岡」が地域産業の拠点となるよう、静岡市及び各種産業団体等と連携し、地場産業を中心とした各種産業と観光などを紹介し、地場産品などの愛用を促すとともに、ご来場の皆様に楽しみ喜ばれる場を提供する。

- 〔会 場〕 ツインメッセ静岡
- 〔開催日〕 11月28日（土）・29日（日）（予定）
- 〔主 催〕 （公財）静岡産業振興協会

- ◆取組 ・市外の小学生等も対象に加え、産業フェアのPRを強化する。
- ・既存出展者以外の地場産業団体・企業に対し、出展に向けPRする。
- ◇目標 ・来場者数 95,000 人以上（経営計画目標）
- ・新規地場産業出展者の確保 1 件（経営計画目標）

④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業 2,000 千円 新規

★次代を担う子どもたちが“ものづくり産業”とふれあう取組を支援します

地域の児童生徒（未就学児童含む）がものづくり体験を通して、地域産業にふれあい、興味・関心を醸成することを目的に実施する催事に対して、協賛金による助成を行うことにより、将来のものづくり産業の振興を支援する。

- ◆取組 ・当館を利用して、静岡市内に在住する高校生までの児童生徒を対象にした体験型催事を実施する地場産業団体へ協賛金を交付する。（上限 1,500 千円）
- ◇目標 ・交付件数 1 件以上

(3) 都市型産業支援事業

① 創業者支援事業 7,268 千円 (7,318 千円)

資本や人材などの経営資源に乏しい創業者が、スムーズに事業を開始し、独り立ちするために必要な支援事業を実施する。

<創業・経営相談>

創業希望者、創業間もない人や中小企業者等を対象にした相談業務を行い、経営に関する悩みや課題の解決を図る。

◆取組 ・企画事業スタッフによる事業指導、経営相談を実施する。

◇目標 ・相談件数 200 件

<大学等起業家育成支援事業>

大学生や高校生等を対象に、創業に関する基礎知識の習得や、自立心・問題発見力・想像力等の“起業家精神”を育む。

◆取組 ・高校、専門学校、大学を対象に「ビジネス実践講座」を実施する。

◇目標 ・大学等 5 校、高校 5 校の参加者を確保

<創業者育成支援室運営等事業>

“起業家精神”の高揚、柔軟な発想力や独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービスの開発を促すため、創業者育成支援室を運営し、ビジネスプランコンテストやブレークスルーセミナーを開催する。

前年度に引き続き、創業初期段階（創業間もない・創業を目指す・創業に興味がある）の女性を対象に講座を開催し、B-nest を核とした女性創業者同士のネットワーク構築を目指す。

また、創業予定者を対象とし、窓口相談員（中小企業診断士）による起業の基礎を学べる講座を開催する。

さらに、当センターと「清水産業・情報プラザ」の創業者育成室入居者の交流を図るため、入居者交流会を開催する。

◆取組 ・「ビジネス実践講座」においてビジネスプランコンテストへの参加を促す。

・女性限定で、「創業スタートアップ講座」「働く女性のためのキャリアアップ講座」を開催する。

◇目標 ・ビジネスプランコンテストへの応募件数 80 件

・女性創業者を 10 人以上輩出（経営計画目標）

② マーケティング支援事業 5,950 千円 (5,960 千円)

中小企業支援の主な手法をマーケティングに置き、人材育成や商品開発支援を実施する。

<マーケティング支援講座>

創業者、中小企業者等に対して、マーケティング発想で考えることのできる人材を育成し、中小企業の売上や顧客満足度の向上に繋げるため支援講座を開催する。

- ◆取組 ・受講者のレベルに合わせた支援講座を年 12 回開催する。
- ◇目標 ・講座受講者による満足度割合 90%以上（経営計画目標）

<静岡おみやプロジェクト>

市内の食品事業者（中小企業者）から参加事業者を公募し、通年の講座やテストマーケティング等の実施により、マーケティング視点で商品開発を行うまでのノウハウの習得や商品開発力の向上を図る。

- ◆取組 ・フード専門家による勉強会、商品相談会を行い、質の高い商品の完成を目指す。
- ◇目標 ・新商品開発 6 件

③ 産学連携事業 19,541 千円 (21,541 千円)

高度な技術、人材、知識を持つ大学と中小企業との連携により、新製品開発、新事業進出、経営の高度化を目指す。

<産学連携コーディネータによる産学連携推進>

中小企業の新事業への進出や経営課題の解決・改善に向けて、産学連携相談や中小企業者に対する大学等の研究成果、技術情報の提供等を行い、企業と大学・工業技術研究所等との交流・連携を推進する。

- ◆取組 ・「産学連携コーディネータ会議」を開催し、中小企業、大学、行政機関の間で革新的技術等の情報共有を図る。
- ◇目標 ・相談件数 130 件

<地域課題に係る産学共同研究委託事業>

企業・組合・産業活性化グループなどの団体等が、地域課題を解決するため、高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で行う調査、研究や開発等の取組を支援する。

引き続き、基礎研究に力を注いでいくとともに、前年度に新設した「発展コース」の限度額を 50 万円から 100 万円に増額し、研究課題の実用化を促進する。

- ◆取組 ・過去の本委託事業を経験した企業を訪問し、研究実用化への助言を行う。
- ◇目標 ・製品化件数 2 件以上（経営計画目標）

④ 情報提供事業 1,027 千円 (906 千円)

ホームページをはじめ、メールマガジン、広報誌等の情報媒体により、創業者や中小企業者向けに当センターや産業支援施設等の情報を提供する。

◆取組 ・スマートフォンでホームページを閲覧することのできる環境を整備する。

◇目標 ・メールマガジン新規登録者数 250 件

⑤ 施設提供事業

中小企業の会議、研修をはじめ、大学等の講義、講演会等に施設の貸出を行う。

また、産業支援機関等が主催する事業で、当センターの事業を拡大・補完するものとして認められた事業に対しては、施設の優先確保及び設備の提供等を行う。

◆取組 ・利用者の範囲や利用時間の拡大など、利用基準や利用方法を見直す

◇目標 ・年間施設使用料収入 2,300 万円以上（経営計画目標）

(4) 中小企業支援センター事業

① 窓口相談等事業 7,650 千円 (7,650 千円)

中小企業者やこれから創業を志す人に対し、中小企業診断士による経営相談や、マーケティングアドバイス、創業相談等を行う。

◆取組 ・創業基礎知識習得を支援するため、相談会を毎日開催する。

◇目標 ・新規創業者数 25 者、新商品開発 5 点、新分野進出 5 社（経営計画目標）

② 専門家派遣事業 5,025 千円 (5,025 千円)

創業者や創業予定者、中小企業等の課題や問題等を解決するために専門家を派遣する。

また、進化する I T 化への対応などの相談が増えていることから、I T 化の指導が可能な専門家の確保に取り組む。

◆取組 ・経済関係団体と専門家の情報を共有する。

◇目標 ・新たに 5 人の専門家を確保（経営計画目標）

③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業 1,000 千円 (1,000 千円)

「新連携」や「地域資源活用プログラム」をはじめ、「農商工連携」等の国庫補助制度の採択に向け、本市における地域資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化を推進する。

④ 中小企業等販路開拓支援事業 2,519 千円 (2,472 千円)

静岡おみやプロジェクトなどで開発された、市内中小企業の優れた商品を P R し、販路拡大を目指すため、テストマーケティングや県内の旅館、ホテルへの商談会等のイベントを実施する。

◆取組 ・県内の旅館等に出向き商談会を開催し、商品の P R、商談の場を提供する。

◇目標 ・商談件数 30 件

⑤ 制度融資関連事務（静岡市受託事業） 6,166 千円 (6,166 千円)

融資申し込み書類の受付、相談事務など、中小企業への融資制度事務を行う。

2 収益事業（ツインメッセ静岡）

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

① 展示場及び会議室等の貸与

市民を対象にした興行や販売会など「公益目的事業」以外の催事にも展示場、会議室を有効活用し、地域経済の活性化と施設運営の安定化を図る。

【主な催事】

全国建築板金業者大会（5月）、ミキハウスバーゲンセール（6月・10月）
伊藤忠ファミリーフェア（6月・12月）、ネットヨタ現車大即売会（10月）
ロータリークラブ地区大会（11月）

(2) レストランテナント及び飲料水自動販売機事業（ツインメッセ静岡）

テナント方式によるレストランや飲料水、コピー機等を設置し、施設利用者の利便性を確保する。

3 公益と収益に共通する事業

(1) 利用促進事業 5,723千円（7,063千円）

静岡市のMICE推進の中核施設の役割を担う拠点として、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、新規展示会の誘致や自主事業の開催の実現に向けて取り組み、施設利用率の向上を図り安定的な施設運営を継続する。

<大規模コンベンションの共同誘致営業>

「MICE連絡会」参加団体である静岡市・するが企画観光局・静岡県文化財団と連携し、「大規模コンベンション」の共同誘致を行う。

- ◆取組 ・ 広く県外に発信できる有力な業界団体等の助言やバックアップを得て、共同して誘致活動を実施する。
- ◇目標 ・ 誘致案件を3件確保

<展示場を活用した産業振興とMICE推進事業>

中小企業に対し、新製品の発表や商談の機会を提供し、地域経済の活性化を推進することにより、さらなる経済波及効果に貢献する。

- ◆取組 ・ 小展示場の利用率向上対策として、利用者の動向を掴み、長期利用者や新分野の利用者など新規利用者の開拓に取り組む。
- ・ 近隣施設の改修工事に伴い会場確保に窮している主催者の現状を把握し、その受け皿として、ツインメッセ静岡への利用の推進を図る。
- ・ 地域産業支援の拠点センターとして、“ものづくり”と“子ども”をキーワードにした自主事業や、中小企業支援型の「BtoB」型催事の開催実現に向け取り組む。
- ◇目標 ・ 小展示場の利用率38%以上（経営計画目標）
- ・ 自主事業開催の企画書（案）の作成（経営計画目標）

<広報媒体の活用>

ホームページ、SNS（フェイスブック）やイベントカレンダー等によるイベント情報告知をはじめ、市内主要駅への広告掲示やイベント情報誌への広告掲載を実施する。

(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行う。

☆収容台数 立体 587 台・地下 189 台

☆利用料金 30 分毎 100 円

(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡） 216,963 千円（215,282 千円）

利用者の安心、安全の確保並びに利用者サービスの向上を図るため、施設及び設備の修繕を実施する。また、令和4年度の南館大規模改修事業に向けた設計業務を行う。

<計画修繕業務>

- ア 北館外壁アルミパネル塗装修繕
- イ 立体駐車場外壁塗装・屋上防水修繕
- ウ モール屋根・ガレリア鳥害対策修繕
- エ 昇降機設備修繕
- オ 自動火災報知設備更新修繕
- カ 立体駐車場ほか照明設備更新修繕
- キ 小展示場換気設備更新修繕
- ク 小展示場ほかトイレ高機能化修繕
- ケ 小展示場一般放送更新修繕

<南館大規模改修事業>

- ア 基本設計業務委託
- イ 実施設計業務委託（令和2～3年度継続業務）

4 組織づくり・人材づくりへの取組

(1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図っていく。

◆取組 ・職員の研修体制、勤務実績の適正な評価方法を検討する。

◇目標 ・研修体制や評価方法の方針案の作成（経営計画目標）

(2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図る。

◆取組 ・再整備計画に沿って規程、マニュアル等の見直しを行う。

◇目標 ・再整備計画にある今年度分の各種規程の見直し完了（経営計画目標）

5 理事会・評議員会

協会が適切な事業運営を行うために、理事会では業務執行の決定等を、評議員会では法人運営の適正化の評価等をするために、理事会並びに評議員会を開催する。

☆定時理事会 5月、3月

☆定時評議員会 6月

令和2年度収支予算書
 公益財団法人 静岡産業振興協会
 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常利益				
① 基本財産運用益	447,057	440,057	7,000	
基本財産受取利息	57	57	0	
基本財産受取賃借料	387,000	380,000	7,000	
基本財産受取駐車場料	60,000	60,000	0	
⑤ 事業収益	24,164	24,154	10	
施設利用料収益	22,013	22,013	0	
受取負担金	2,151	2,141	10	
⑥ 受取補助金等	246,681	246,039	642	
受取地方公共団体補助金	169,877	169,877	0	
産学交流センター指定管理受託収益	70,638	69,996	642	
制度融資窓口事務受託収益	6,166	6,166	0	
⑦ 受取負担金	8,825	8,825	0	
受取負担金	8,825	8,825	0	
⑩ 雑収益	3,051	3,051	0	
雑収益	3,051	3,051	0	
⑪ 営業収益	5,000	5,000	0	
飲料水販売受託収益	5,000	5,000	0	
⑫ 営業外収益	3,297	3,297	0	
雑収益	3,297	3,297	0	
経常収益計	738,075	730,423	7,652	
(2) 経常費用				
① 事業費	899,106	958,046	△ 58,940	
給料手当	109,617	109,772	△ 155	
退職給付費用	2,440	0	2,440	
福利厚生費	17,191	17,232	△ 41	
旅費交通費	2,425	2,471	△ 46	
通信運搬費	2,815	2,780	35	
広告料	2,308	2,989	△ 681	
減価償却費	234,672	237,520	△ 2,848	
消耗什器備品費	1,236	861	375	
消耗品費	7,988	7,907	81	
修繕費	171,818	216,337	△ 44,519	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
印刷製本費	2,781	4,928	△ 2,147	
燃料費	184	184	0	
食糧費	208	208	0	
光熱水料費	56,665	58,551	△ 1,886	
賃借料	13,456	11,994	1,462	
災害保険料	3,436	3,139	297	
諸謝金	32,236	32,327	△ 91	
手数料	2,930	2,837	93	
租税公課	34,447	34,429	18	
原材料費	1,026	1,006	20	
助成金	2,000	2,000	0	
負担金	3,557	37,024	△ 33,467	
委託費	193,500	171,397	22,103	
雑費	70	53	17	
雑損失	100	100	0	
②管理費	48,796	47,573	1,223	
役員報酬	5,683	5,783	△ 100	
給料手当	31,980	32,175	△ 195	
退職給付費用	1,560	0	1,560	
福利厚生費	5,655	5,694	△ 39	
旅費交通費	471	321	150	
減価償却費	1,654	1,673	△ 19	
消耗什器備品費	8	5	3	
消耗品費	33	34	△ 1	
印刷製本費	2	2	0	
食糧費	50	50	0	
光熱水料費	315	329	△ 14	
災害保険料	24	21	3	
諸謝金	960	860	100	
手数料	8	8	0	
租税公課	242	240	2	
負担金	3	3	0	
支払利息	48	275	△ 227	
雑費	100	100	0	
經常費用計	947,902	1,005,619	△ 57,717	
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 209,827	△ 275,196	65,369	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
投資資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 209,827	△ 275,196	65,369	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 209,827	△ 275,196	65,369	
一般正味財産期首残高	5,211,586	5,585,760	△ 374,174	
一般正味財産期末残高	5,001,759	5,310,564	△ 308,805	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0	
III 正味財産期末残高	5,031,759	5,340,564	△ 308,805	

令和2年度 収支予算内訳表
 公益財団法人静岡産業振興協会
 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常利益													
① 基本財産運用益	312,900	0	0	0	57	312,957	3,870	130,230	0	134,100	0	0	447,057
基本財産受取利息	0	0	0	0	57	57	0	0	0	0	0	0	57
基本財産受取賃借料	270,900	0	0	0	0	270,900	3,870	112,230	0	116,100	0	0	387,000
基本財産受取駐車場料	42,000	0	0	0	0	42,000	0	18,000	0	18,000	0	0	60,000
⑤ 事業収益	0	100	22,389	1,675	0	24,164	0	0	0	0	0	0	24,164
施設利用料収益	0	0	22,013	0	0	22,013	0	0	0	0	0	0	22,013
受取負担金	0	100	376	1,675	0	2,151	0	0	0	0	0	0	2,151
⑥ 受取補助金等	70,000	37,257	70,638	38,786	0	216,681	1,000	29,000	0	30,000	0	0	246,681
受取地方公共団体補助金	70,000	37,257	0	32,620	0	139,877	1,000	29,000	0	30,000	0	0	169,877
産学交流センター指定管理受託収益	0	0	70,638	0	0	70,638	0	0	0	0	0	0	70,638
制度融資窓口事務受託収益	0	0	0	6,166	0	6,166	0	0	0	0	0	0	6,166
⑦ 受取負担金	1,537	0	225	0	0	1,762	3,805	658	0	4,463	2,600	0	8,825
受取負担金	1,537	0	225	0	0	1,762	3,805	658	0	4,463	2,600	0	8,825
⑩ 雑収益	2,100	0	51	0	0	2,151	0	900	0	900	0	0	3,051
雑収益	2,100	0	51	0	0	2,151	0	900	0	900	0	0	3,051
⑪ 営業収益	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000
飲料水販売受託収益	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000
⑫ 営業外収益	0	0	0	0	0	0	3,297	0	0	3,297	0	0	3,297

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
雑収益	0	0	0	0	0	0	3,297	0	0	3,297	0	0	3,297
經常収益計	386,537	37,357	93,303	40,461	57	557,715	16,972	160,788	0	177,760	2,600	0	738,075
(2)經常費用													
①事業費	479,115	56,760	98,963	40,612	0	675,450	16,530	207,126	0	223,656	0	0	899,106
給料手当	32,800	15,850	23,069	17,678	0	89,397	3,820	16,400	0	20,220	0	0	109,617
退職給付費用	1,600	0	0	0	0	1,600	40	800	0	840	0	0	2,440
福利厚生費	5,800	2,550	3,035	2,761	0	14,146	145	2,900	0	3,045	0	0	17,191
旅費交通費	523	930	464	284	0	2,201	7	217	0	224	0	0	2,425
通信運搬費	1,025	474	750	108	0	2,357	18	440	0	458	0	0	2,815
広告料	1,297	154	300	0	0	1,751	19	538	0	557	0	0	2,308
減価償却費	160,465	0	0	0	0	160,465	4,018	70,189	0	74,207	0	0	234,672
消耗什器備品費	756	0	130	0	0	886	19	331	0	350	0	0	1,236
消耗品費	3,495	562	1,944	381	0	6,382	84	1,522	0	1,606	0	0	7,988
修繕費	119,534	55	1,000	0	0	120,589	1,708	49,521	0	51,229	0	0	171,818
印刷製本費	279	561	1,476	340	0	2,656	6	119	0	125	0	0	2,781
燃料費	70	0	0	84	0	154	0	30	0	30	0	0	184
食糧費	21	0	178	0	0	199	0	9	0	9	0	0	208
光熱水料費	30,555	0	9,100	0	0	39,655	3,645	13,365	0	17,010	0	0	56,665
賃借料	2,912	5,827	558	2,911	0	12,208	3	1,245	0	1,248	0	0	13,456
災害保険料	2,308	0	60	0	0	2,368	58	1,010	0	1,068	0	0	3,436
諸謝金	0	1,620	17,187	12,665	0	31,472	764	0	0	764	0	0	32,236
手数料	1,035	203	811	380	0	2,429	53	448	0	501	0	0	2,930

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
租税公課	23,425	30	17	11	0	23,483	717	10,247	0	10,964	0	0	34,447
原材料費	0	1,026	0	0	0	1,026	0	0	0	0	0	0	1,026
助成金	0	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
負担金	293	263	2,857	9	0	3,422	7	128	0	135	0	0	3,557
委託費	90,873	24,655	36,027	3,000	0	154,555	1,298	37,647	0	38,945	0	0	193,500
雑費	49	0	0	0	0	49	1	20	0	21	0	0	70
雑損失	0	0	0	0	0	0	100	0	0	100	0	0	100
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,796	0	48,796
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,683	0	5,683
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,980	0	31,980
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,560	0	1,560
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,655	0	5,655
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	471	0	471
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,654	0	1,654
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	33
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	50
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315	0	315
災害保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	24
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	960	0	960
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242	0	242

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	48
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	100
経常費用計	479,115	56,760	98,963	40,612	0	675,450	16,530	207,126	0	223,656	48,796	0	947,902
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 92,578	△ 19,403	△ 5,660	△ 151	57	△ 117,735	442	△ 46,338	0	△ 45,896	△ 46,196	0	△ 209,827
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 92,578	△ 19,403	△ 5,660	△ 151	57	△ 117,735	442	△ 46,338	0	△ 45,896	△ 46,196	0	△ 209,827
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 31,678	31,678	△ 151	151	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 124,256	12,275	△ 5,811	0	57	△ 117,735	442	△ 46,338	0	△ 45,896	△ 46,196	0	△ 209,827
一般正味財産期首残高	4,623,068	8,258	31,458	3,281	645,234	5,311,299	5,899	△ 215,110	201,638	△ 7,573	△ 92,140	0	5,211,586
一般正味財産期末残高	4,498,812	20,533	25,647	3,281	645,291	5,193,564	6,341	△ 261,448	201,638	△ 53,469	△ 138,336	0	5,001,759
II 指定正味財産増減の部													
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
指定正味財産期末残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
III 正味財産期末残高	4,528,812	20,533	25,647	3,281	645,291	5,223,564	6,341	△ 261,448	201,638	△ 53,469	△ 138,336	0	5,031,759

事業区分

公益目的事業

- 公1 静岡産業支援センター(ツインメッセ静岡)を用いた産業及び地域の振興・交流拠点事業
- 公2 地場産業支援事業
- 公3 都市型産業支援事業
- 公4 静岡市中小企業支援センター事業

収益事業

- 収1 レストランテナント及び飲料水自動販売機事業
- 他1 静岡産業支援センター(ツインメッセ静岡)の公益目的事業以外の貸与事業